

第75回登別市市民自治推進委員会 育み部会議事録

(敬称略)

開催日時	令和5年8月28日(月) 18時00分～
開催場所	アーニス 2階 あえる STATION
出席者	(部会長) 大熊龍也 (副部会長) 神谷博達 (部会員) 合田美津子、大坂倫一 (読書活動家) 高木三千子、須藤和恵、河上邦子、松平孝子 鎌田真理子 (庁内委員) 下沢亮一 (事務局) 大越智輝、鳥海秀充、相馬杏
欠席者	(部会員) 仲川弘誓、佐藤文子、磯田大治 (読書活動家) 松山哲男、武者正樹、藤原明日香 (庁内委員) 館下貴子
議題	育み部会絵本コーナーについて
配布資料	・第75回「育み部会」資料(部会長作成)

※読書活動家の方々にもご参加いただき、育み部会絵本コーナーについて協議した。

○会議の要点

1 本日の協議

(1) 第19回絵本コーナー「ブックファームあーにす」の振り返り

- ・今回の読み聞かせ担当団体は「おはなしぼけっと」
- ・来場親子は3組、子どもは3名、来場成人単独は3名だった。
- ・工作のイベントとして、牛乳パックで竹トンボを作製し、親子で工作を楽しんでいた。
- ・当日は「ふたりのあさごはん」というパペットを実施。非常に反応が良く、2回実施した。
- ・絵本コーナー開催時に、ダイソー前で呼び込みを実施したが、絵本コーナーへ来場される方は少なかった。館内の来場者に子ども連れの方は少なく感じた。
- ・事前周知として、市内の保育所、幼稚園、小学校、中学校へ案内配布及びポスター掲示、市公式ウェブサイトや市公式LINEなどで周知を行った。
- ・8月19日(土)の室蘭民報「ウィークリーガイド」にて絵本コーナーの開催案内が掲載された。
- ・また、絵本コーナー当日、室蘭民報の記者より取材を受けた。
- ・絵本コーナー開催時の絵本の貸出は1冊。

- ・絵本コーナーで実施したパペット「ふたりのあさごはん」の反応が良かった。今日小学校でもパペットを実施したが、非常に反応が良かった。
- ・パペットを実施して、子どもは繰り返し行うことに非常に良く反応していることがわかった。
- ・小学校で読み聞かせを実施する際に、繰り返しのものを読んでもほしいと要望を受けたことがある。
- ・パペット「ぞうのボタン」についても、魅力ある実演で子どもたちの反応が非常に良かった。読み聞かせの勉強にもなった。
- ・絵本の読み聞かせ団体の「おはなしぼけっと」は、メンバー個人の他活動が多忙となってきたことから、8月の読み聞かせ担当をもって読み聞かせの担当を終了することとなった。

(2) 今後の予定

- ・次回、第20回ブックファームは9月19日（土）10：00～12：00。

2 その他

- 前回部会で提示した、登別市市民自治推進委員会全体会議での依頼内容について、意見を徴収した。
 - ・北海道の子どもたちは投げる力が弱いと聞く。現在、育み部会の取り組みとして、ルールを設けてボール遊びができる公園があるが、キャッチボールなどのボール遊びができる場所が必要だと思う。
 - ・子どもの体力低下は新型コロナウイルス感染症の影響があるのではないか。
 - ・現在ののびのび公園の取り組みについて、市内の公園ではボール遊びができないということで、周辺住民に協力をいただき、ルールを設けてボール遊びができる公園として取り組みを実施している。
- 読書活動団体退席後、改めて部会員と協議を行った。
 - ・本日欠席の部会員より部活動の地域移行について、情報提供をしてほしいと要望が出ている。
 - ・地域移行について、野球やサッカーなどの団体種目の部員が学校単位では不足している状況のため、登別市でひとつのチームを作ることで、生徒数の少ない学校や元々団体種目が無い学校でも部活動に取り組むことができる。
 - ・最初は、中学校からこの取り組みを進めることとし、将来的には広い世代からなるクラブを想定している。
 - ・本件「部活動の地域移行について」全体会議へ情報提供の依頼をすることとする。
 - ・自治推進について、研修会を設けるのはどうか。
 - ・現在の自治推進委員会の立ち上げから現在まで7年間の振り返りや、原点に戻り市民自治とは何なのかを協議する必要があると思う。

3 次回の育み部会について

日時：令和5年9月25日（月）18：00～

場所：アーニス2階 あえる STATION